

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビリブ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月3日		令和7年12月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年12月3日		令和7年12月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム内容や活動、連携、異年齢との交流の場や他事業所との交流の場を設けていること	季節ごとのイベント、外出行事、クッキング、公共交通機関の利用など利用者が楽しみながら、成功体験や経験を積むことができるように計画を立て、生きていく力を育てているよう様々なプログラムを実施している。また他のデイサービスとの連携や合同のイベント活動も年に数回つくり、異年齢のたくさんの人との交流の場をつくっている。	利用者や保護者からの意見やリクエストも取り入れながら、一人一人が様々な成功体験や経験を積んでいけるよう、さらに充実したプログラムを考え、工夫しながら行っていく。
2	手厚い人員配置と色々な専門的資格・経験者による支援を行っていること	基準より手厚い人員配置となるように、非常勤職員も含めて支援にあたっている。 また、社会福祉士、精神保健福祉士、学校教諭、幼稚園教諭、保育士、児童福祉事業経験、5年以上の経験などの有資格者をはじめ、様々な支援の現場に従事した経験のある職員が多く在籍している。	質の高いプログラムが実施していけるように、研修などを行い、職員の質の向上を図っていく。また、専門的支援加算を取り入れて、様々な専門的有資格者から見た支援を行っていく。
3	家族同士の交流の場や日々の子どもの様子や情報共有を記録や写真にして共有できるようにしていること	毎年、保護者や兄弟姉妹が交流できる機会をつくり、子ども達が楽しむ様子を見てもらったり、悩みや相談をみんなで分かち合う機会をつくっている。また、日々の連絡帳とは別に写真を配付し、様々な活動の様子などを知ってもらうことや利用者が家で活動の内容を話やすいように、保護者に安心感を持ってもらえるように情報共有を工夫している。	今後も保護者の方と密に情報共有を行い、支援の共通認識をもたうえで、寄り添いながら一緒にお子様支援を行っていく。利用者の日々の活動の様子がわかるよう写真等でも情報発信・共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースについてのこと	定員に対してのスペースの基準は満たしているが、実施する活動内容によっては、利用者の活動等のスペースが十分に確保できないことがあり、配置など工夫が必要である。	限られたスペースではあるが活動内容に合わせて安全面に考慮し、同時に活動する人数を調整したり、時間を分けて活動させるなどの工夫を行っていく。スタッフ間で死角や危険箇所などの共有を図り、利用者の安全の確保を今後も行う。活動する場合は日頃から必要な教材や道具だけを室内に置いたり、工夫して整理整頓を行ったりして、出来るだけ活動スペースを確保できるようにする。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があまりないこと	現在は、地域の公園の利用やお店の使用などを通して、地域の方との交流を図ることはあるが、放課後児童クラブなどの団体同士での直接的な活動の機会は設けられていない。	地域の活動の情報をホームページ等で確認したり、地域の行事に参加するなどして必要に応じて交流をもつ機会を検討していく。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っており、お手紙や写真でも共有しているが、把握できていない保護者がいる。安心して利用してもらえるよう関心を深め、随時伝えていく必要があること	実際に行う日などは予約時に伝えているが、ホームページ・SNS等での配信については、基本的に外の活動イベントを配信しているため、研修や訓練等の様子や実施が保護者があまり把握できていないところがある。	保護者が安心して事業所に送り出すことができるよう、ホームページ・SNS等で、できるだけ職員の研修や訓練等の実施についても配信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスピリブ

公表日 令和8年3月6日

利用児童数 19

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			2	特になし	利用者10名に対しての基準は満たしている構造になっております。限られたスペースではありますが、活動内容等に合わせ安全面に考慮し、使用しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		2	特になし	利用者10~15名に対し、職員を4~6名配置しております。また、保育士等の資格を保有し、教育や福祉など支援の現場に従事した経験のある職員が在籍しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3		1	構造化された環境だと思うが、バリアフリーになっているかという点と適切ではないと思う。	ご意見ありがとうございます。民家を借りているので大規模な改修はできておりませんが、廊下の床工事やクロスや張替え等を行ったり、定期的に安全面チェックを見直し修繕などを加えております。フロアにはジョイントマットを敷く、ガラスには飛散防止シートを貼る等の安全面の対策を行っています。利用されるお子さんが活動しやすく、安心して過ごせるよう、学習スペースと遊びのスペースを分けて使用するなどの工夫をしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1		2	マンションの一室とは違って一軒屋なので、実家に帰ってきたような過ごしやすいさがある。	ご意見ありがとうございます。お子さんの利用後には職員で清掃・消毒を丁寧に、毎日清潔で気持ちよく過ごすことができるよう努めております。また、活動内容に応じて、運動系を取り入れた活動には、グループに分かれたり、順番を決めたりしながら十分なスペースを確保して安全に運動をできるよう工夫しております。
適	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19				特になし	毎日実施するイベントではアセスメントやモニタリング等の情報から利用しているお子様に応じたレベルの計画を工夫しながら運動感覚や社会スキル、日常生活スキル等、子ども達に必要なスキルを考え実施しております。また、子どもの発達段階に応じて強度や量、内容を調整するなど、子ども達が安心して取り組むことが出来るよう考えて実施しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19				特になし	個別支援計画やモニタリングをもとに、5領域を取り入れたイベントや事業所内での生活を通して支援の内容を職員同士で話し合いながら工夫しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				特になし	ご家庭や学校、事業所等でのお子様の様子から一人ひとり学年や成長に合わせて課題や目標についてその都度話し合い計画を立てております。

切 な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			1	特になし	個別支援計画の様式の見直しもい、5領域を取り入れた支援内容で計画を作成し5領域を取り入れた様々な観点からの総合的な支援の提供に努めております。担当者会議やモニタリングをもとに、利用されているお子様や、ご家庭のニーズに応じた支援内容を工夫して設定しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				特になし	アセスメントやモニタリングを行い、計画を作成しております。また、5領域を取り入れ、様々な観点から支援を行っております。高学年になると個別の生活訓練につながる内容での支援も行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		1	特になし	一人一人の成長に合わせてながら活動プログラムや支援計画を工夫し、固定化しないよう今後も取り組んでまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	1	5	現在までには他のクラブとの交流は聞いていない。	ご意見ありがとうございます。放課後児童クラブなど団体同士での活動は、なかなか機会を作れないため、必要に応じてそのような交流をもつ機会を今後前向きに検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18			1	特になし	本事業所で行っている活動、支援の内容や利用者負担等については、見学时・契約時等にご説明させていただいております。毎月の行事等についても後日詳細を配付させていただいております。また様々な手続き等でご質問いただいた内容についてもその都度対応させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				特になし	見学时や入所時、変更があった際に活動、支援の内容や利用者負担等について、ご説明させていただいております。また、様々な手続き等でご質問いただいた内容につきましてその都度対応させていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1			特になし	毎年親子交流会を開催させていただき、必要な家庭に応じて情報共有をその都度、積極的に行っております。今後は交流会とは別に研修会や家庭支援プログラムなどの方法で情報提供や共有の場をつくれるよう検討していきたいと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19				特になし	電子連絡帳や送迎時にて日々のお子様の様子をお伝えしております。また、必要に応じて個人的に電話等でご連絡させていただき、情報共有しております。今後も、成長に合わせてなんでも気になることがございましたら、ご遠慮なくご相談下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19				個別支援計画の時などお話し助かっています。	連絡帳や会話の中で保護者の方からご相談やご質問を受けた場合や、お子様の様子に変化があった際など、必要に応じて面談や電話にて対応させていただいております。今後も、成長に合わせてなんでも気になることがございましたら、ご遠慮なくいつでもご相談下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				一緒に成長を感じて頂いているので嬉しいです。	連絡帳や面談等を通して保護者の方の思いや悩みを聞き、一緒に話し合いながら考えたり、対応を提案したりできるよう心がけております。今後も、お子さんと保護者の皆様に寄り添いながら支援ができればと思います。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	3			交流イベントは仕事のため行けていないが、写真で兄弟の交流などを（楽しそうな姿を）見て一緒にデイサービスで良かったと思います。	ご意見ありがとうございます。親子交流会、保護者説明会では、日頃顔を合わせることがないご家庭同士で交流することができ、兄弟児を含めた交流をしたり保護者会の中で様々な年代の子どもの状況を情報交換したりすることができました。今後も保護者様の意見を参考にさせて頂きながら交流会を開催出来たらと考えております。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1			いつも突然電話をしても、時間を作って下さいます。	迅速に対応できるようマニュアルを作成し、契約時には苦情窓口の案内もさせて頂いていただいております。職員間で情報共有を行い、再発することがないように協議検討しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1		1		特になし	お子様の様子については、連絡帳に記入したり送迎時など対面する機会等にお伝えしたりして、共有・連携できるよう心がけています。また、時間が取れない場合は、電話などでお話しさせていただくこともあります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16			1	2	特になし	毎月各イベントの際に活動の様子を写真に撮り、イベント毎にまとめたものを配布させていただいています。また、ホームページのブログにて活動の様子や自己評価の結果などお伝えできるよう取り組んでいます。保護者様には毎月イベントの内容等は後日詳細の手紙を配付して、共有、お知らせしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				2	特になし	個人情報は職員に就業規則や誓約書などで事業所外への持ち出し禁止としております。順守しながら個人情報の漏洩防止に努めています。さらに、令和4年4月施行の改正個人情報保護法に対応した施策（新たな保険の加入など）を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17				2	全てのマニュアルに対して説明されたか問われると疑問だが、訓練をしているのはスケジュールで見た事があるので安心している。親が正確マニュアルを理解することも必要ないと思っている。ただ、ビリーブにいる時間に地震などで交通が麻痺して歩いてしか行けない場合、職場から徒歩となると何時間かかるのか、携帯が繋がらない場合などの備えを聞いておきたいと思っていたところです。	ご意見ありがとうございます。マニュアルの更新ごとに各対応マニュアルをご家庭に毎年配信させていただくようにしております。そちらをご確認お願いいたします。ご不明点がございましたら個別に対応させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				2	学校等でも行われていますが、家ではやっていない訓練で不安なく学校でも落ち着いて過ごす事ができている。	様々な非常時や災害時を想定し、年に数回避難訓練を取り入れ、避難の仕方や避難場所についても子どもたちと一緒に確認を行っています。職員研修では救命救急や応急処置を学ぶ研修も行ってあります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18				1	特になし	計画につきましては入所時や更新時に周知しております。また職員は研修等も行っており、対策を考え、気を付けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18				1	特になし	管理者に報告後、お電話等で状況をできるだけ早くお伝えするよう努めております。また、必要であれば病院受診の判断をお願いするようにしております。今後も、お子さんの安全を第一に考え、迅速に対応してまいります。

満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				特になし	日常での子どもの表情や言動などに気を配り、必要があればその都度声掛けを行い、一緒に考えるようにしています。利用するお子さん全員が安心感をもって通所できるよう、今後も職員全員で見守っていききたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				特になし	これから子ども達が「ただいま」「楽しかった」と感じてもらえるような居場所になるようイベントの設定や、安心・安全にすごせるよう環境整備等に努めていきます。ひとりひとりの居場所となり、日々の遊びや学習、友達や職員との関わりを楽しみながら個々の目標に向けて様々な経験を積んでいけるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				特になし	保護者の皆様のご理解、ご協力のもと、子ども達に寄り添いながらよりよい生活を送ることができるよう職員一同支援を行ってまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスビリーブ		令和8年3月6日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に応じてスペースを工夫している。環境設定している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人数を多く配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		完全バリアフリーではないが、危険な所などないか点検し修理している。フローリングもジョイントマットを敷いたりして工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除や次亜塩素酸やアルコール除菌などして気を付けている。空気清浄機やオゾンも設置活用している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		高学年の下校時間が遅かった時の学習や子どもが落ち着かない時の部屋を2階と1階の事務所に設けている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で反省会を行い、振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年アンケートの協力をお願いし、改善につなげている。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別の面談やミーティング等で意見を出し合い、業務改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修にも全員ではないが、できるだけ参加している。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		月ごとに配布する予約表にプログラムを記載しており、児童、保護者にも周知している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		成長に合わせて、保護者の意見を聞きながら作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で子どもの情報は常に共有しており、話し合いながら支援の方向性など検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で話し合い支援内容を共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		両方のアセスメントを活用し状況把握している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		項目別で設定して計画にいれている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活用内容など5領域に合わせて内容を工夫している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもたちの成長に合わせて内容やレベルを変更して工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の内容イベントや集団の内容イベントを計画して行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1日の活動内容等、前日に流れや分担など共有して、皆で準備して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要に応じて当日、通常は翌日午前中に打ち合わせを行っている。	日々の会議で全体や問題行動等の事項は話すが、個々の支援の振り返りまでは詳細にはされていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録などもクラウドノートを活用したりして電子化して内容を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回のモニタリングにて検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		支援内容や計画も見直ししながら変更して行っていく。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		学年それぞれ成長と共に自己決定できる利用児もいるので、本人の気持ちや考えを聞いたりしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		学校や相談支援、基幹相談などと連携して会議したりしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		病院に同行したりして情報共有をさせてもらっている。学校との連絡も電話や送迎時に行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎年ほとんど同じ学校の送迎が多いため、関係を築きやすく連携がとれやすくなっている。行事に対して支援共有したり工夫している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の資料をいただき支援に活かしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		見学に行ったり情報共有したりしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達センターとの連携については必要な場合のみ行っている。	児童発達支援センターとの連携については必要な場合のみのため今後連携を深めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	近くの公園で遊んだりする時に交わることがある。駄菓子屋さんとの関わりがあり、今後増やせたらと思う。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		交代で色々なスタッフが研修に参加させてもらっている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話等で保護者と連絡を取り合い、子どもの状況や課題の共通理解を図っている。連絡を取る前に職員でも共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要な家庭には情報共有は積極的に行っている。	研修等は未着手である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入所時に行う他、必要に応じて書類や手紙で配付、掲示を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングや担当者会議を通して意向を確認し対応している。成長に合わせて意向も変わってきているため、適宜行っている。	